

ウェルビーイングに基づく政策デザイン（WBPD）習得のための
「WBPD OASIS プログラム」のご案内
（エグゼクティブコース）

2024年4月

一般社団法人スマートシティ・インスティテュート（SCI-Japan）



Smart City
Institute Japan

「WBPD OASIS プログラム」立ち上げの経緯

- スマートシティの推進にあたっては、DX・脱炭素時代に相応しい新たな都市像を描き、市民、企業、大学、NPOなど多様なステークホルダーを巻き込みながら、課題設定、事業計画、技術を含む、政策プログラム全体をリードする「アーキテクト（地域経営人材）」の存在が必要不可欠といわれています。
- さらに、「デジタル田園都市国家構想」においては、スマートシティ・まちづくりの最終目的は「市民のWell-Beingの実現」であると謳われており、この中長期的な目標を明確にしたうえで、その実現に向けてさまざまな政策をデザインし、実践していくことが重要となります。
- こうした課題認識の下、一般社団法人スマートシティ・インスティテュート（SCI-Japan）では、ウェルビーイングに基づく政策デザイン（Well-Being-Based Policy Design（WBPD））を習得するための研修プログラムとして、「**WBPD OASIS プログラム**」を立ち上げることにしました（以下4コースを設定）。
 - A 「**WBPD OASIS プログラム（ガバメント）**」 ～自治体職員向け
 - B 「**WBPD OASIS プログラム（ビジネス）**」 ～民間企業向け（ビジネスモデル創出目的）
 - C 「**WBPD OASIS プログラム（エグゼクティブ）**」 ～自治体首長・民間企業役員～部長クラスまでの幹部向け
 - D 「**WBPD OASIS マスタープログラム**」 ～ WBPD OASIS Practitioner 資格保有者（A、Bの受講修了者）向け
- この「OASIS研修」は、SCI-Japanが別途実施するスマートシティ推進人材育成のための「City-Region MAPプログラム」の上位プログラムとして位置付け、WBPDの習得に特化した**より高度、より実践的なプログラム**となっております。

「WBPD OASIS プログラム」 一覧

コース名	対象者／定員	受講期間／プログラム概要	受講料（税込）
WBPD OASIS ガバメント	<ul style="list-style-type: none"> ● 地方自治体職員 ● 総合政策・スマートシティ・まちづくりの推進に関わる部署のマネジメント～中堅層 ● 20名まで 	<ul style="list-style-type: none"> ● 月1回、計6か月（原則） ● 90分（講義、事前課題の発表、グループディスカッション）×6回 ● 毎回、事前課題（個人ワーク）有 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1団体／50万円（55万円） ● 講師の出張交通費・宿泊費は別途 <p>※相乗り参加の場合 民間：1名／40万円（44万円） 大学、NPO：1名／20万円（22万円）</p>
WBPD OASIS ビジネス	<ul style="list-style-type: none"> ● 民間企業役職員 ● スマートシティ・まちづくりにおけるビジネスモデルの創出に関わる部署のマネジメント層～中堅社員（部課長） ● 20名まで 	<ul style="list-style-type: none"> ● 受講期間、講義回数、事前課題等は、上記と同じ ● 「WBPD OASIS ガバメント」を基本としつつ、民間企業によるビジネスモデルの創出を目的に一部内容をアレンジ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1社／400万円（440万円） ● 講師の出張交通費・宿泊費は別途
WBPD OASIS エグゼクティブ	<ul style="list-style-type: none"> ● 地方自治体、民間企業 ● 自治体の首長（民間企業担当役員）～部長級までの幹部職員向け ● 20名まで 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1回／90分 ● 以下の3項目に関する集中講義 ①ウェルビーイングの概要、②地域幸福度指標の概要、③政策デザインやビジネスモデルデザインの概要 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地方自治体 1団体／15万円（17.5万円） ● 民間企業 1社／30万円（33万円） ● 講師の出張交通費・宿泊費は別途
WBPD OASIS マスター	<ul style="list-style-type: none"> ● WBPD OASIS Practitioner 資格保有者（OASISガバメント or ビジネスの受講修了者） ● 10名程度 	<ul style="list-style-type: none"> ● 月1回、計4か月（原則） ● 90分（講義、ケース、ディスカッション等）×4回 ● 毎回、事前課題（個人ワーク）有 ● プロジェクト実践レポート2件（審査有） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地方自治体 1団体／50万円（55万円） ● 民間企業 1名／50万円（55万円） ● 講師の出張交通費・宿泊費は別途

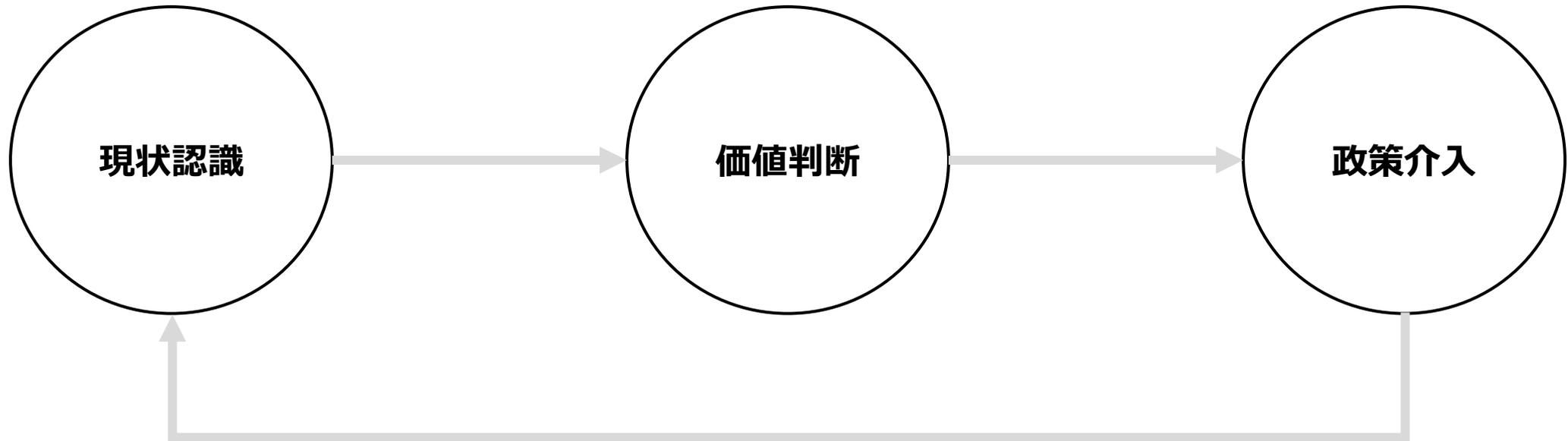
C 「WBPD OASIS プログラム（エグゼクティブ）」（幹部向け）の概要

- 名称：「WBPD OASIS プログラム（エグゼクティブ）」（首長・担当役員等幹部向け）
- 講師：SCI-Japan専務理事 南雲 岳彦
- 研修内容：「WBPD OASIS ガバメント」のプログラムのうち、以下の3項目に関する1回／90分の集中講義となります
 - ①ウェルビーイングの概要
 - ②地域幸福度（Well-Being）指標の概要
 - ③政策デザインやビジネスモデルデザインの概要
- 開催日時：申込団体・企業にて決定（事前に講師と調整のうえ）
- 開催場所：申込団体・企業の会議室等（申込企業側で確保してください）
- 定員：20名程度（受講者の選定は申込企業にお任せします）
- 受講対象：自治体の首長（民間企業担当役員）～部長までの幹部向け
- 目指すゴール：経営層として必要なWBPDに関する知見を獲得（詳細は別紙の通り）
- 申込受付：随時受付（自治体単位での申込となります）
- 費用（税抜）：**地方自治体 15万円、民間企業 30万円**

※ 1都3県（神奈川、千葉、埼玉）以外での開催の場合には、講師の交通費・宿泊費（実費）を別途請求します 4

Well-Being-Based Policy Design (WBPD) とは

- WBPDとは、「実践の手法」である。主観・客観の両データの有効性と限界を理解の上、価値観や倫理観、目的と文脈といった定性的な情報を加味し、市民の幸福感や暮らしやすさの実感を向上させることを目指す政策立案手法である。



どのようにして、自治体が地域幸福度 指標を活用するための能力を開発するか？

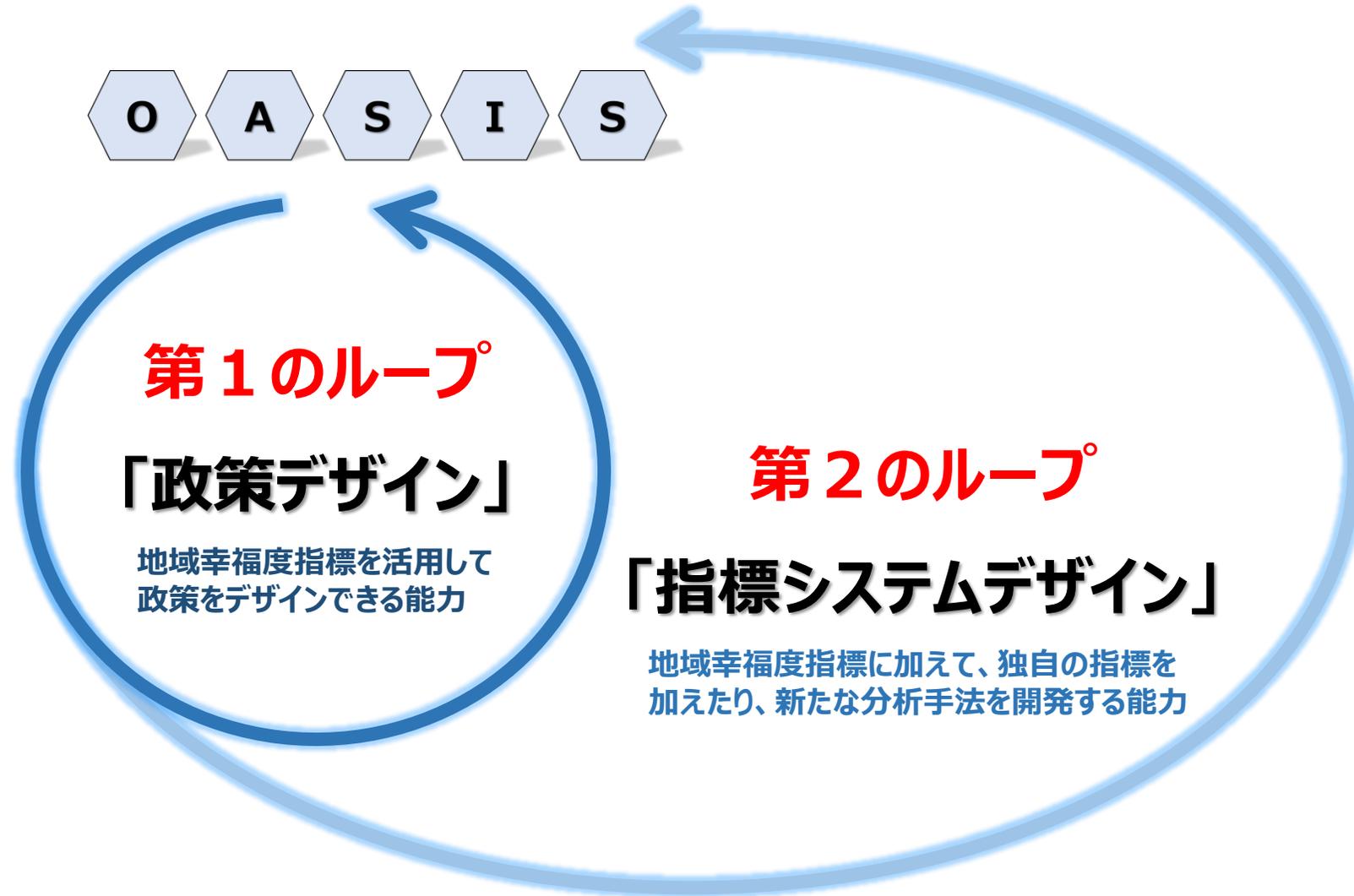
(例：総合計画策定への反映)

ウェルビーイング
概念の理解

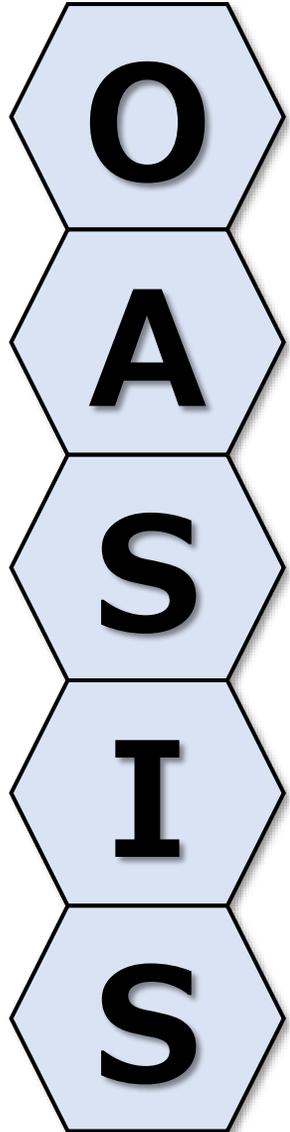
ウェルビーイング
指標の理解

ウェルビーイング
政策デザイン手法

自治体におけるウェルビーイング指標に基づく政策デザイン能力をダブルループで開発する



OASIS研修の基本設計（5つの標準ステップ）



Overview = 大きく目を開いて地域社会を俯瞰する

Analyze = データを分析してフォーカスを見つけ出す

Solve = ウェルビーイングを高める政策をデザインする

Impact = 工夫を重ねてソーシャルインパクトを導き出す

Share = 良い結果も悪い結果も、広く社会に共有する